

上妻宏光 | 生一丁!

〈2022/ゲスト出演〉

◆ 王立炎名 ◆

上妻さんと共演させて頂き、沢山の刺激という大きなギフトをいただきました。一音入魂の気持ち、リズムの感じ方、自由に演奏する喜び、ホールの響きの聴き方、何よりも津軽三味線の魅力を沢山感じることができました。また音楽の表記は、音符と休符でほとんどの音楽作品が作曲されているのですが、休符という音が無い空間を表現するということも共演させていただき感じました。休符＝間。間も音楽の一つ、感じわかる事により、表現の幅が広がったと思っています。沢山のギフトをくださった共演、響演でした。

上妻 宏光 ◆三味線◆
Hiromitsu Agatsuma

6歳より津軽三味線を始め、幼少の頃から数々の津軽三味線大会で優勝する等、純邦楽界で高い評価を受ける。2000年に本格的にソロライブ活動を開始し、ニューヨーク、ニューオリンズで地元ミュージシャンとセッションも行う。帰国後デビューアルバムの制作に入り1stアルバム「AGATSUMA」と6thアルバム「○-エー」は日本ゴールドディスク大賞の純邦楽アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2ndアルバム「BEAMS ~AGATSUMAII」は全米リリースされ、アメリカ、EU、アジア等、世界35カ国以上で公演を行っている。内閣総理大臣主催の「TOKYO2020公式夕食会」、「第5回アフリカ開発会議 公式首脳晩餐会」において演奏を披露。2014年には津軽三味線奏者として初めて歌舞伎の本興行(主演:市川海老蔵)にも参加。舞台、映画、ドラマ、日本国内外の様々なシーンへの楽曲提供もしている。近年ではサザンステアでの「2017年アスタナ万博」にてプロデュース公演を行い、中国では単独公演の実施や大型フェスへの出演も果たした。伝統をふまえるが時代に応じた感性を加え、ジャンルや境域を越える活動で津軽三味線の「伝統と革新」を追求し続けていく。また、日本全国の小学校において日本の伝統音楽の魅力を伝える授業を行っており、次世代への文化伝承にも力を注ぐ多岐にわたる活動は、三味線奏者として開拓の第一人者と言える存在である。



公 演 ゲ ス ト 〈2026/2/21 沖縄公演除く〉

公演ゲスト〈2026/3/3東京公演〉

浅野 祥 ◆三味線◆
Sho Asano

11歳で津軽三味線全国大会最年少優勝後、3連覇。2007年17歳でメジャーデビューし、アメリカ、ヨーロッパ、北中南米、アジア各国など様々な国でコンサートツアーを実施。民謡、Classic、Rock、Jazz、Pops、フラメンコなどジャンルにとらわれない演奏スタイルにより、山下洋輔、Antonio Rey、Yamaなど、様々なアーティストとの共演を重ねる。自身のアルバムでは世界的なミュージシャンとの創りや、同じくジャズ界の若きスタープレイヤー、Marcus Gilmore、グラハムを制作。近年では、ラジオDJや、NHK民謡番組の放送作家と兼て作編曲する「MIKAGE PROJECT」でワールド



チヨン・ジェイル・作曲家・ピアノ・
Jung Jaeil

米アカデミー賞最優秀外国映画賞「バラサイト 半地下の家族」
「イカゲーム」

3歳からピアノに触れ、幼い頃から10以上の楽器の演奏をこなし、どの楽器も1ヶ月以内にマスターするなど、音楽的才能を発揮し天才少年と呼ばれながら青少年期を過ごす。ソロアルバムはもち

ろん、多様なミュージシャンとコラボレーションして優れた成果を出して演劇、映画、ミュージカル音楽などを作業してプロデューサーとしても認められている。2021年、韓国人として初めてハリウッドメディア音楽賞(HMMA)を受賞。近年の音楽監督としての代表作としては、映画『パラサイト 半地下の家族』、映画『ベビー・ブローカー』、ドラマ『イカゲーム』(シーズン1,2)など、今回の「生丁丁」では、上妻宏光の委嘱により三味線2丁による新作を手掛ける。(※一部地域を除く)



公 演 ゲ ス ト 〈2026/2/21 沖 縄 公 演〉

佐辺 良和 ◆ 琉球舞踊 ◆
Yoshikazu Sanabe

那覇市生まれ。琉球舞踊世舞流二代目家元。1986年琉球舞踊世舞流家元又吉世子に師事。2005年沖縄県立芸術大学院音楽芸術研究科舞台芸術専攻修了。2008年国立劇場おきなわ組踊研修修了。2015年第19回日本伝統文化振興財団賞。同年第2回公演会開催。2018年沖縄タイムス芸術選奨大賞(琉球舞踊)。

池間 北斗◆琉球箏曲◆
Hokuto Ikema

琉球箏曲を又吉貞子に師事。国立劇場おきなわの第一期組踊師研修修了。国立劇場おきなわ主催公演・東京国立劇場や海外での琉球芸能公演に地謡として参加。沖縄タイムス芸術選賞箏曲の部最高賞受賞。第2回賀賢記念全国箏曲コンクールにおいて賀賢賞受賞。第25回日本伝統文化振興財団賞受賞。

仲村 逸夫 ◆歌三線◆
Itsumo Nakamura

1997年、父である仲村熱に歌三鞭の手ほどきを受け、その後琉球古典音楽野村流保存会に嘉康春に師事。沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科舞台芸術専攻琉球古典音楽専修修了。国立劇場おきなわ組踊研修(伝承者養成研修)第1期修了生。2017年沖縄タイムス芸術選奨琉球古典音楽部門奨励賞受賞。

入 嵩 西 論 ◆ 琉球横笛 ◆
Satoshi Iritakenishi

琉球横笛を琉球古典音楽安富祖流絃聲會大清清之に師事。国立劇場おきなわ主催公演をはじめとして、県内外の琉球芸能公演の舞台で演奏活動を行う。普久原恒勇作曲の器楽曲などにも笛で参加している。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了生(地方笛)。琉球古典音楽安富祖流絃聲會師範。

「生一丁!」Tour2025-2026 Schedule ※2025年7月30日現在

宮城	2025 11.30	日	開場	13:15	開演	14:00	中新田パッハホール	沖縄	2026 02.21	土	開場	未定	開演	未定	国立劇場おきなわ
滋賀	2025 12.20	土	開場	13:30	開演	14:00	滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール(小)	富山	2026 02.28	土	開場	未定	開演	未定	黒部市芸術創造センターセレネ
福岡	2026 01.12	月	開場	13:30	開演	14:00	大濠公園能楽堂	東京	2026 03.03	火	開場	未定	開演	未定	東京文化会館(小)
広島	2026 01.17	土	開場	13:30	開演	14:00	広島 JMSアステールプラザ(中)	茨城	2026 03.08	日	開場	13:00	開演	14:00	日立シビックセンター
鳥取	2026 01.18	日	開場	13:30	開演	14:00	米子市文化ホール	神奈川	2026 03.14	土	開場	未定	開演	未定	厚木市文化会館(小)
埼玉	2026 02.01	日	開場	13:30	開演	14:00	所沢市民文化センターミューズ	愛知	2026 03.15	日	開場	13:00	開演	13:30	名古屋能楽堂
静岡	2026 02.07	土	開場	未定	開演	未定	袋井市月見の里学遊館	大阪	2026 03.28	土	開場	13:30	開演	14:00	東大阪市文化創造館(小)